

地方公共団体名	鹿児島県知名町
所属部局	企画振興課ゼロカーボン推進室
地域の抱える環境・脱炭素に関する課題	奄美群島の外海離島として燃料・食料・資材の殆どを島外からの船舶輸送に依存。台風、時化、地政学リスクで物流が停止すると生活基盤が直撃を受ける。島唯一のディーゼル火力発電所による電力がCO2排出の主因であるとともに、交通部門が島のGHG排出量の3割以上を占めることから「電力＋交通」の同時脱炭素化が急務。
環境・脱炭素と同時解決したい地域課題	人口減少と経済縮小に加え、鉄道皆無・路線バスが日に数本、タクシー不足で島内移動の不便さが高齢者生活と産業振興の最大のボトルネック。MaaSによる持続可能な移動手段の確保が不可欠。
地域のありたい未来	2050年までにカーボンニュートラルを達成し、持続可能で暮らしやすい沖永良部島。
マッチングを望む分野	優先度 ↓ 高 1 交通分野の脱炭素（EV等） 2 バイオガス 3 水素 4 資源循環 低 5 風力発電 その他 : _____
マッチング企業と取り組みたい事業	・自動運転EVによるオンデマンドMaaS実証の協業先 ・町主導 EV 導入を支える 急速／普通充電ステーション網の共同整備 ・食物残渣からのバイオガス製造／余剰再エネを活用した水素製造と利活用